令和7年度全国学力・学習状況調査　小平町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:2校、児童数:19人　中学校数:1校、生徒数:15人

○ 教科に関する調査の状況

【調査実施日：令和7年4月17日】

【レーダーチャート】

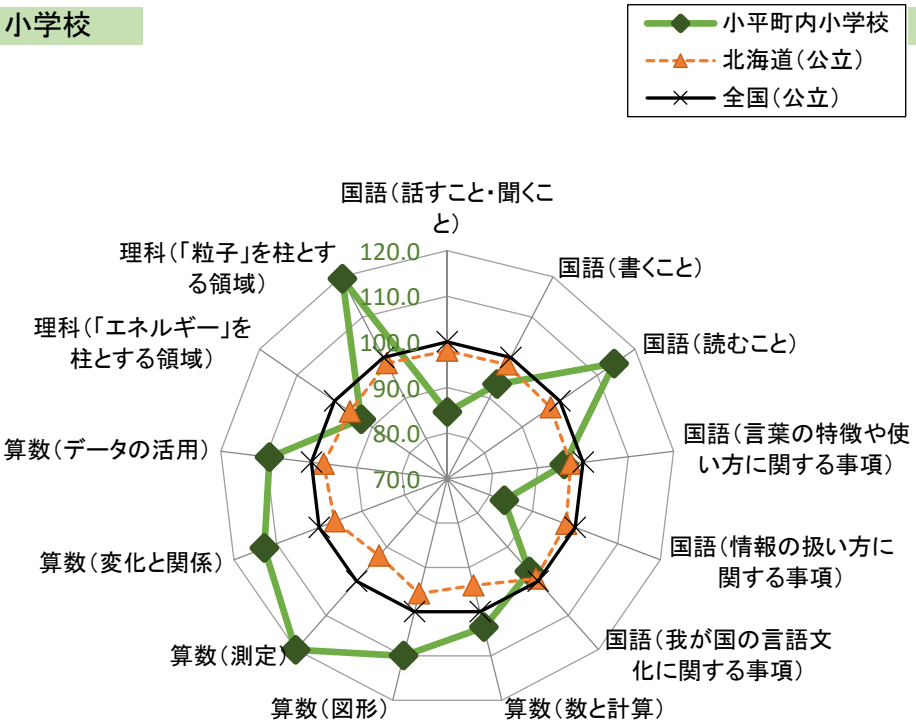
・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

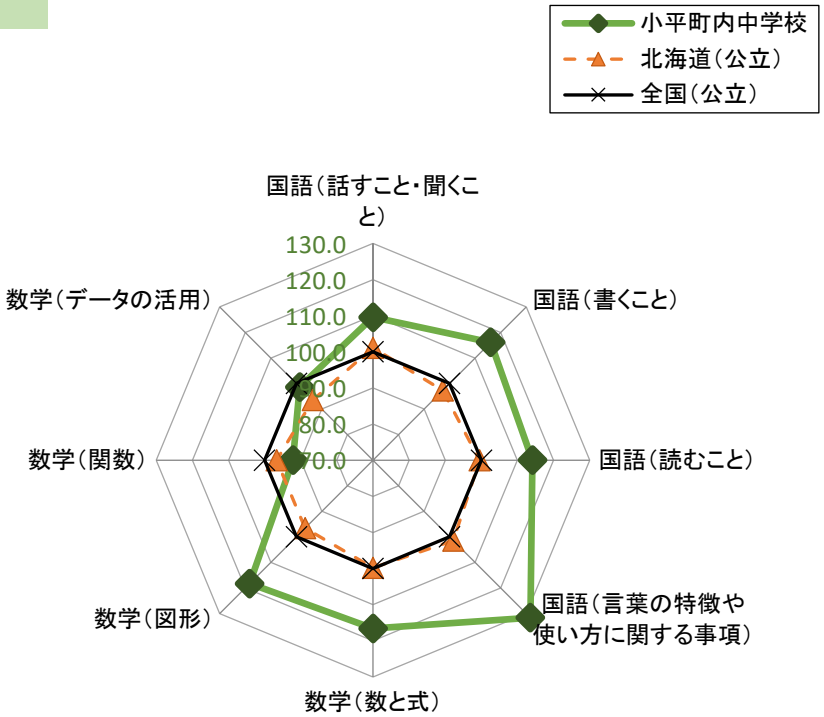
【平均正答率・平均IRTスコア】　※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
小平町	65	62	60	63	52	521
北海道（公立）	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国（公立）	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校



○ 小平町内の状況及び今後の改善方策

＜小学校＞

・上表のとおり国語の（話すこと・聞くこと）、（情報の扱い方に関する事項）が特に低くなっており、また、（書くこと）や（言葉の特徴や使い方に関する事項）が平均正答率が全国及び全道を下回っていますが、（読むこと）については平均正答率が全国及び全道を上回っています。

・児童が自分で考え、国語を正確に理解し、適切に表現する力やまとめたものを発表する力、情報を的確に取り扱う力などを育み、思考力や表現力、想像力を高めていくよう授業改善を推進します。

＜中学校＞

・上表のとおり数学の（関数）分野において平均正答率が全国及び全道を下回っています。

・関数関係の意味や比例、反比例について理解させるとともに、表、式、グラフなどを活用し、変化や特徴を見出すなど数学的な知識や技能を身に付けさせることが肝要です。

・ICT端末を活用した学習支援ソフトを活用するなど、授業内外での個別最適な学びと協働的な学びの充実を図るよう授業改善を推進します。